



# 加佐登小学校 学校運営協議会だより

第1号

令和3年6月15日発行  
学校運営協議会事務局

## 学校運営協議会とは コミュニティ・スクールとは

鈴鹿市では、すべての公立小中学校がコミュニティ・スクール（略称：CS）に指定され、地域に開かれた特色ある学校づくりをすすめています。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々など10人程度の委員によって構成される学校運営協議会が設置されている学校のことです。学校運営協議会では「どのような学校を創っていくのか」「どのような子どもを育てていくのか」といったことなど、様々な教育課題について、共に考え、知恵を出し合いながら、地域ぐるみの学校づくりに取り組んでいます。

この「加佐登小学校 学校運営協議会だより」では、年間6回開催予定の会議での協議内容等を中心に、コミュニティ・スクールとしての取組状況をお伝えします。

【会議開催予定日：5/24, 6/22, 10/14, 11/16, 1/28, 2/14】

## 令和3年度 学校運営協議会 委員のみなさん

(敬称略)

役職名	名 前	備 考
委員長	馬場 一郎	まちづくり協議会青少年育成部長
副委員長	辻 久雄	前学校運営協議会委員長
委 員	伊藤 安	広瀬町自治会長
委 員	御船 槇枝	北西地区民生委員児童委員協議会代表
委 員	川北 信夫	加佐登地区市民センター長
委 員	藤田 盛久	三重県立杉の子特別支援学校長
委 員	関根 啓子	地域コーディネーター
委 員	伊藤 ゆかり	学校支援ボランティア
委 員	大藪 幸恵	加佐登小学校 PTA 会長
委 員	山田 晋司	加佐登小学校長
事務局	宮崎 美知	加佐登小学校教頭
事務局	市野 玲衣菜	加佐登小学校CS担当

## 第1回 学校運営協議会【5月24日(月)開催】(報告)

まず、学校側から令和3年度の学校経営改革方針及び学校予算の説明が行われ、委員の皆さんから承認されました。さらに、協議会及び学校行事の年間計画と学校いじめ防止基本方針について説明が行われました。

後半は、まちづくり協議会との連携や卒業式の服装について話し合いました。特に、学校とまちづくり協議会の連携した取組の一つとして、今年度から新たに行っている「米づくり活動」については、進捗状況が詳しく報告されました。

また、学校の儀式的行事である卒業式については、小学生としてふさわしい節度のある服装や髪型で臨んでいただくことを、学校とPTA、学校運営協議会の三者から6年生の保護者をお願いしていくこととなりました。(昨年度と同様に。)

### ◇まちづくり協議会青少年育成部と学校の連携した取組

- ・1年「昔のあそびを知ろう」、3年「昔の暮らしを知ろう」などを今年度も予定している。夏休みに予定している「ペットボトルロケット・ゴム飛行機飛ばし」などはコロナの状況を見て、実施方法を考えていく。

### ◇米づくり活動について

- ・島田恒次さんの田んぼをお借りして田植えから収穫まで行う。5月6日(木)に田植えを手植えと機械で行った。水の管理は育成部が行い、主に島田さんが請け負ってくださる。除草や稲刈りなどを子どもに体験させていきたいと考えている。



### ◇鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課 杉谷 直俊 CS アドバイザーより

- ・この運営協議会の直前まで、教職員がICTの研修会を行っていた。授業で使うためにも教師が勉強して、時代を先取りした取組をしておき、さらに学校がよくなっていくことが期待できる。
- ・地域やまちづくり協議会、学校運営協議会などが子どもと関わると、子どもはさらに良くなっていく。地域の行事を学校でも宣伝していくとよい。
- ・卒業式の服装について、校長、PTA会長、学校運営協議会委員長の3人の名前で便りを出している。

このように、日頃から、学校と保護者と地域が一体となっていることが大事である。